

さ え き く ば おおち
安芸国佐伯郡玖波村 大知家文書 仮目録

広島県立文書館

平成23年(2011)9月

凡 例

- 1 本目録には，安芸国佐伯郡玖波村 大知家文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号（199302）と，この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 10/1 199302 / 10 / 1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り，ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば（ ）で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には，頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を探り，推測した場合は（ ）書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。多人数にわたるものは，適宜「他 名」と略記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。
- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため，本文書群の概要を冒頭に付した。
- 5 本目録で使用している日本語文字のうち，JIS規格（JIS X 0208, 1997）に含まれないものは，*方*（より）である。これは，特殊な方法で表示してあるので，文字として検索すること，および，テキストとして抽出することはできない。本ファイルの利用にあたっては，その点に留意されたい。

【文書群概要】

安芸国^{さえき}佐伯郡^{くば}玖波村^{おおち} 大知家文書（請求記号 199302）

安芸国佐伯郡玖波村（現大竹市）の組頭を勤めた大知家に伝来した文書類。

出 所 大知家

旧支配 広島藩領（家老上田家給知村）

出所地名 安芸国佐伯郡玖波村

分 量 18点（15通，1袋，2包）

収蔵までの経緯 平成5年（1993）9月に所蔵者より寄託，平成22年（2010）年1月，1点追加し，寄贈に変更。

年 代 天保14年（1843）から明治4年（1874）まで

歴 史 寄贈者によると，同家の屋号は「大野屋」。江戸時代中期に京都から来住した同家は，古くは「大地」姓であったという。初代大知重三郎（享保10年没）以降，同吉助（元文2年没），清水市郎左衛門（寛保3年没），同新九郎（寛延元年没），同重三郎（宝暦7年没），同吉助（文化9年没），同重五郎（明和2年没），大知為吉（寛政10年～明治19年），同重五郎（文政11年～明治6年），同米太郎（嘉永5年～昭和16年），同為一（昭和38年没）と続いて絶えた。為一氏の妹は米国へ移民した。為吉は玖波村の組頭を勤めた。古文書も多くあったと思われるが，慶応2年の長州征伐の戦火により焼失した。為吉はその時資材を投げ打って村を救助した。明治4年の武一騒動のときに広島まで出て，帰りに井口村に落ち着いた。

内 容 長州征伐の罹災救助に関する「焼家小間銀算用書」「兵火罹災者救助御仕向下され候二付申聞せ方申達書」のほか，辞令・褒書，広島藩主・世子や奉幣使通行に関する書類など。

参考資料 平成22年度収蔵文書展「激動の時代 幕末維新の広島と古文書」図録及び「展示古文書キャプション全文・解説文」。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2011.9.9 記述 / 西村 晃）

番号	表題	年代	作成	形態	数量	
1	御奉書写し(貯銀基立として寸志銀差 出し奇特二付百姓共誉書) 包「浅野二位殿御直書 御文意」入	(天保14)			切紙	1通
2	覚(組頭格玖波村為吉当分組頭加 り申付書) 包「上 村方御役所」入	卯.12.	村方御役所		切継紙	1通
3	申談頭書(若殿様名代佐伯郡廻村二 付申談頭書) 公用紙使用	(慶応4)			切継紙	1通
4	申渡入(玖波村中浜新開築造御用懸 り等申付二付申渡し写)	慶応3.6.8	山田喜和馬		切継紙	1通
5	[佐伯郡玖波村先与頭為吉去ル巳年 凶作之難渋者救助奇特二付誉書]	辛未(明治4)6.	広島藩庁		切紙	1通
6	態申遣(当役所へ出頭方達し) 公用紙使用	.3.27	佐伯郡御役所 為太	与頭格玖波村	切紙	1通
7	[鯛大網御覽二付玖波村十五郎船網引 類之者五拾壱人へ酒四斗入一樽下され 候目録] 包「上 細書先代金五郎」入				切紙	1通
8	[廻在趣旨頭書] 公用紙使用,包「松井勝直御名代様 御文意 村々御廻書」入	(慶応4)			切継紙	1通
9	[与頭玖波村為吉去夏奉幣使等御通行 之節新湊へ御渡海御船構精勤二付下され 候褒美銀目録]				切紙	1通
10	奉幣使梅溪公殿 公用紙使用	元治元.6.	佐伯郡御役所 為吉	与頭格玖波村	袋	1袋
10/1	○覚(玖波村与頭為吉金札引換金請 取) 公用紙使用	巳(明治2)7.28	佐伯郡御役所		縦切紙	1通
10/2	○[奉幣使御通行御褒美銀送り方二 付申達書] 公用紙使用	(慶応元)5.	佐伯郡御役所調役 波村為吉殿	組頭格玖 波村	切紙	1通
11	焼家御書下 小間銀・竹木代銀・御文 意				包	1通
11/1	○竹木割附記 慶元方明治元年越シ				折紙	1通
11/2	○小間銀高(算用書)				切紙	1通
11/3	○覚(焼家小間銀算用書) 玖波村	卯(慶応3)12.	御用掛り割庄屋 七殿・庄屋才次郎殿	当分庄屋甚	切継紙	1通
11/4	○[巳ノトシ分渡し高]				切紙	1通
11/5	○大野や大晦か加飯				切紙	1通
12	竹木別合(焼家算用書)				切紙	1通
13	申渡(玖波村先与頭為吉倅重五郎組 頭格明治新開見廻り役申付書) 公用紙使用,包「上 明治新開懸り役 与頭格重五郎」(公用紙)入	(明治元)閏10.23	植木完兵衛・片山新太郎		切継紙	1通
14	覚(玖波村与頭加り為吉組頭本役申 付書)	巳(明治2)6.	村方御役所		切継紙	1通
15	[鯛網御覽二付玖波村鯛網持主十五 郎へ下され候祝儀金目録] 包「上 細書先代金五郎」入				切紙	1通
16	態申遣入(兵火罹災者救助御仕向 下され候二付申聞せ方申達書) 公用紙使用	辰(慶応4)5.15	山田喜和馬・坂田啓次郎 割庄屋小田新七・同和田吉左衛 門・同与一郎・同千右衛門・ 同越智豊三郎・同甚右衛門・ 同甚九郎・同直五郎・当分庄 屋甚七・庄屋万七郎・与頭共		切継紙	1通
17	[御誉書包] 中身なし「上 御誉」	明治4.7.16			包	1通